

白装束の荒縄はこうしめる

荒縄の結び方にはいくつかの方法がありますが、ここでは昔から行われている男結びを紹介します。

一段階 ←



縄を左肩にかけ、胸のほうに30センチほど残して背中側に輪を作る。



輪を残したまま縄を時計回りに胸に巻いていく。



巻く数は3回、5回、7回のいずれかにする。

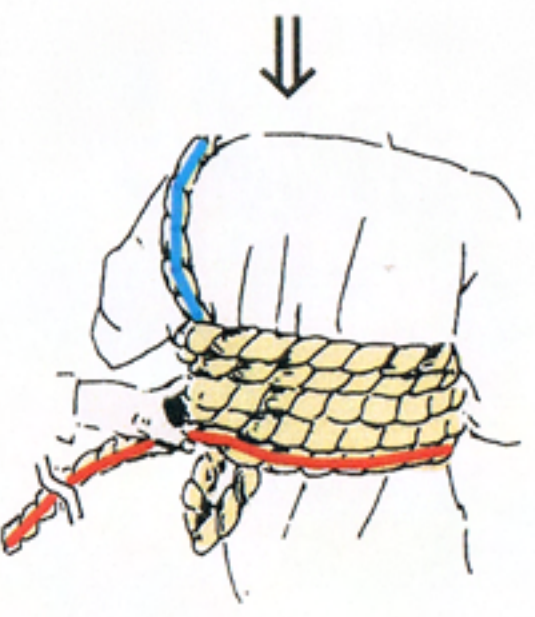
二段階 ↓



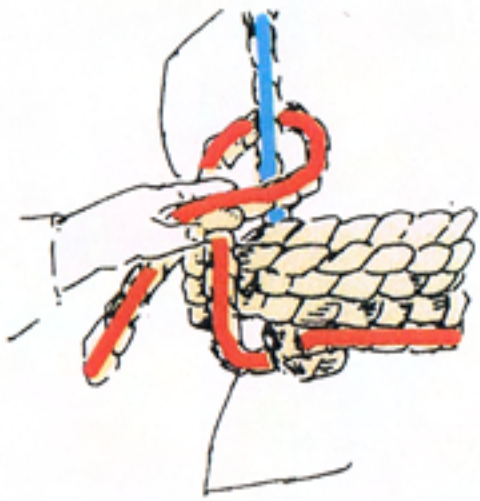
縄を引っ張り輪を締め、縄全体を“ころす”。



縄を輪に通す。



巻いた後、縄を作っておいた輪の位置へ。



ここからが“男結び”。縄を左肩にかけた縄を芯にして輪を作る。



輪に左肩にかけた縄を通す。



両方を思い切り締めあげる。



両端をつかんで下に引き、余分な縄を切る。